（第２号様式）

令和５年４月 28 日

神奈川県教育委員会教育長　殿

県立横浜立野高等学校長

令和５年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標（令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価（○月○日実施）	総合評価（○月○日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒が主体的に学ぶ意欲を高め、確かな学力を身につける教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 ②学校行事や生徒会活動を工夫・充実させ、生徒の主体性、協調性の育成を図る。	①ＩＣＴ機器の利活用と教科横断的な授業により、学習内容の理解と学習習慣の定着を図る。 ②前年度からの感染症対策を見直しながら、生徒主体で学校行事が運営できるよう体制を整備する。	①授業力向上推進重点校のテーマとして、１人１台端末を効果的に使用した授業を組織的・計画的に推し進め、主体的・対話的な学びにより、学力向上を目指す。 ②感染状況に応じて行事の内容や運営方法を見直し、生徒会執行部や各行事の実行委員を中心に、生徒が自ら考え、運営できるように支援する。	①１人１台端末を使用する授業を実施した教員数が増加したか。また、生徒が主体的に取り組む場面が増えたか。 ②生徒が自ら考え行動し、行事の企画内容や運営を主体的に行い、達成感と充実感を得ることができたか。					
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	①日常的な生徒指導を通して社会規範を身につけるとともに、部活動等において自己実現に向けて努力する姿勢を育てる。 ②個に応じた相談・支援体制の充実を図る。	①生徒自身が、所属する組織の一員としての自覚や行動が主体的にできるように、助言や指導の充実を図る。 ②困難を抱える生徒を早期に把握し、適切な支援につなぐためにＳＣやＳＳＷ、教育相談コーディネーターの連携を図る。	①職員間での情報共有を図り、指導にズレが生じないようにグループでの支援を行う。 ②ＳＣやＳＳＷ、教育相談コーディネーターの連携を密にして、校内コーディネーター会議を定期的に行い、情報共有と人材育成を図る。	①全職員が統一した指導ができたか。 ②定期的に校内コーディネーター会議を開催し、校内関係者間で情報共有を図ることができたか。 ②ＳＣやＳＳＷなどと連携し、積極的・組織的な相談・支援に取り組むことができたか。					
3	進路指導・支援	○生徒一人ひとりの進路希望を実現できるよう進路指導体制・教育相談体制・学習支援体制の充実を図る。	○生徒が自ら考え自己実現していく力を身に付ける進路支援体制の充実を図る。	○進路ガイダンスを各学年の適切な時期に実施し、学年と協力しながら、進路希望実現に向けて、ミスのない支援を行う。 ○進路相談室を整備し、進路関連情報の告知を積極的に行う。	○学年に応じて適切な時期に効果的なガイダンスを実施できたか。 ○進路相談室の利用状況。生徒に的確な進路情報を伝えることができたか。					

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （〇月〇日実施）	総合評価（〇月〇日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
				〇総合的な探究の時間を有効に活用したキャリア教育を実践する。	〇生徒が設定した進路目標に対し、実現に向けて取り組む力を育むことができたか。					
4	地域等との協働	〇地域貢献活動や地域との協働活動等を充実させ、地域とともにある学校づくりを推進する。	〇地域の方と活動可能な地域貢献活動を検討し、魅力ある地域づくりに貢献する。	〇間門小学校の要望を踏まえ、連携した活動の充実を図る。 〇本校の教育活動を地域の方に紹介し、地域での貢献活動を検討する。	〇生徒が地域とともに学校づくりをしている実感を得ることができたか。 〇生徒が、自分たちも地域の一員であるという意識を高めることができたが。					
5	学校管理 学校運営	①安全・安心・快適な学習環境の整備に向けた取組みを一層推進するとともに、不祥事防止を通じて保護者や県民から信頼される学校づくりを確立する。 ②学校の教育活動に関する情報発信を積極的に行い、学校への理解が深まるよう努める。 ③生徒と向き合う時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①校内美化および衛生管理を徹底する。 ①不測の事態に備え、防災体制の充実を図る。 ①ＰＴＡと協力し、ＰＴＡ活動の充実を図る。 ②戦略的な広報活動を推進し、学校ホームページや学校説明会の充実を図る。 ③人材育成を最重要課題として、仕事の分散化による負担軽減、量的緩和を図る。	①毎日の清掃活動や、状況に応じた消毒作業をとおして、校内美化と衛生管理を徹底する。 ①防災マニュアルを更新するとともに、防災訓練やＤＩＧ研修会の内容を充実させる。 ①ＰＴＡ各委員会担当者を中心に、ＰＴＡと円滑な連携を図る。 ②生徒主体の説明会を企画し、本校の魅力を積極的に発信する。 ③「総合的な探究の時間」を軸に、職員が自ら課題の解決に取り組み、学校の意思決定に際して発言できる機会をつくり、学校全体の活性化を図る。	①校内美化および衛生管理の徹底に取り組むことができたか。 ①充実した防災に関する取組を実施することができたか。 ①ＰＴＡと密接に連携し、円滑に情報共有と活動が行えたか。 ②効果的にホームページやインスタグラムを運用するとともに、説明会等の参加者に対して、充分に本校の魅力を伝えることができたか。 ③自ら仕事の量的負担をコントロールしつつ、組織として、やりがいを持って業務にあたることができるように指導・支援することができたか。					